

図書館情報

—読書とは、人間が創造した、
もっとも価値の高い快楽の1つです—

●問い合わせ先

本館 73-1616 清和 82-3033 蘇陽 73-2755

読書感想文・感想画コンクール

応募資格 町内在住の小学校・中学校・高校生

応募締め切り 8月30日(木)

感想画 小学校1・2年生 B4画用紙1人につき1枚

感想文 小学校3年生～6年生 400字詰め原稿用紙2枚以内
中学生・高校生 400字詰め原稿用紙2～3枚程度

提出場所 各図書館へ開館時間内にお持ちください



※画用紙の裏面に学校名・学年・氏名・読んだ本の題名を、原稿用紙の①枚目の一行目に
タイトル、二行目に学校名・学年・氏名の記入をお願い致します。

※作品の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。

※応募者全員に参加賞があります！たくさんのご応募お待ちしております！

★平成30年9月のわくわく号運行予定★

※利用される巡回場所・時間の確認を今一度ご確認ください。



蘇陽地区

月 日	巡回場所・時間
9月5日(水)	菅尾保育園(午前10時15分～) 馬見原公民館(午前11時～) 蘇陽南小学校(午後1時10分～) 馬見原保育園(午後2時～) 二瀬本保育園(午後2時45分～) 蘇陽小学童蘇陽キッズ(午後3時30分～)
9月6日(木)	おおのまなび舎Cafe(午前10時30分～) ブルーベリーの家(午前11時～) 蘇陽中学校(午後1時～) そよ風の里ほたる(午後1時50分～) 蘇陽苑(午後2時30分～) はあとふる・けあふる(午後3時～)
9月7日(金)	スクランブル(午前10時30分～) 二瀬本コミュニティセンター(午前11時～) 花上多目的集会所(午後0時30分～) 蘇陽小学校(午後1時10分～) まこと薬局駐車場(午後2時～) 蘇陽南小学童そよかせ会(午後2時30分～)

清和地区

月 日	巡回場所・時間
9月11日(火)	小峰保育園(午前10時～) 緑川簡易郵便局(午前10時40分～) 清和総合支所(午後0時30分～) 清和中(午後1時10分～) 大川保育園(午後1時30分～) 清和学童(午後3時～)
9月12日(水)	山都消防署(午前10時～) 井無田診療所横(午前11時～) 原尻公民館(午前11時30分～) 清和小学校(午後1時) 支援ハウス(午後1時40分～) 市野原(午後2時～)

矢部地区

月 日	巡回場所・時間
9月19日(水)	金内公民館(午前9時45分～) こころ(午前10時30分～) 中島南部体育館横(午前11時～) 矢部中学校(午後1時15分～) 白小野(午後2時～) さくらんぼ愛園(午後2時30分～) 大地(午後3時～)
9月20日(木)	山風華(午前10時45分～) 山都町役場(午後0時30分～) 矢部小学校(午後1時～) 乳児園(午後1時30分～) あおぞら(午後2時30分～)
9月21日(金)	風ノ木(午前10時～) 浜美荘(午前10時35分～) 千寿苑(午後0時30分～) 大矢荘(午後1時15分～) 光露館(午後1時40分～) 彩雲苑・すみれ(午後2時～) 金内保育園(午後2時20分～)

※図書館利用者カードをお持ちの方は、貸出しに必要ですので必ずお持ちください。

※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力ください。巡回場所での滞在時間は約30分です。

※貸出期間は1か月です。次に借りたい方がいらっしゃいます。返却期限までのご返却に協力ください。

山都町図書館だより

声の灯り
— 131号 —

図書館講演会が開催されました

6月10日に千寿苑にて、図書館講演会が開催されました。今回は、子どもを取り巻くメディアについて、お二人にご講演頂きました。会場には、幼児や小学生をつれた保護者や、子育てに関わる活動をされている方などが、熱心に講演に聞き入っていました。以下は、講演会の内容をまとめたものです。図書館にはお二人の著者や関連書籍を多数取り揃えています。ぜひご一読ください。

清川 輝基氏「スマホ社会の落とし穴」

- ・メディア機器から発せられるブルーライトは、長時間見続けると失明の原因になる。
- ・子どもたちが歩いて足を育てないといけな時期に、歩いていない。室内で過ごす時間が長い。…裸足で歩かせることが大切。
- ・今の子どもたちは80歳まで自分の足で歩き、見ることができるだろうか？
- ・日本の若者(35歳以下)の死亡原因1位は自殺であり、先進国の中でも特殊である。
- ・メディア機器を与える大人たちは、子どもにどのような影響があるかほとんど知らない。
- ・外国では、メディア機器の使用をやめて互いに話し、過ごす必要性をテレビCMとして放映されている。WHOはゲーム依存症を「ゲーム障害」という病名を付けている。
- ・こどもの発達権を守るのは、大人の責任ではないか。調べて対策を持つべき。

内海 裕美氏「絵本の世界から見る子どもたち」

- ・子どもの育ちには4つの大きな柱が必要である。「ねむること」「食べること」「あそぶこと」「愛されていること」。
- ・物語を読んだ後、正解不正解ではなく、子ども感じた感想を大切に。先入観を押し付けない。
- ・乳児は肌を離さない、幼児は手を離さない、小学生は目を離さない、青年期は心を離さない。
- ・ネットでは性情報があふれ、かんたんにアクセスできる。間違った情報を受け取ってしまう。
- ・子どもが寄りそって欲しいときに、保護者がネットを使っていて、子どものほうを見ていない。
- ・子育てのストレスは大変。保護者も楽しみを見つける、声掛けをする、専門の人に相談する。
- ・絵本はロングセラーのものを勧めたい。紙の絵本をかたわらにじっくり読む。
- ・優しい気持ちは、優しくされないと育たない。「ほめ言葉」をたくさん使おう。まずは大人が変わろう。

休館日のお知らせ

9月1日(土)・2日(日)は図書館本館は休館となります。

清和分館・蘇陽分館は開館します。